

川田テクノロジーズ株式会社(3443) 2017年3月期決算説明会

2017年5月31日



17 / 3 期の業績と 18 / 3 期の見込



17/3期の業績

(百万円)	16/3	17/3	
	実績	実績	前年度比
受注高	121,589	108,392	10.9%減
売上高	95,153	103,473	8.7%増
売上原価	85,394	90,171	5.6%増
売上総利益	9,758	13,301	36.3%増
販管費	6,705	7,396	10.3%増
営業利益	3,052	5,904	93.5%増
経常利益	2,632	8,701	230.5%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,674	8,140	386.2%増

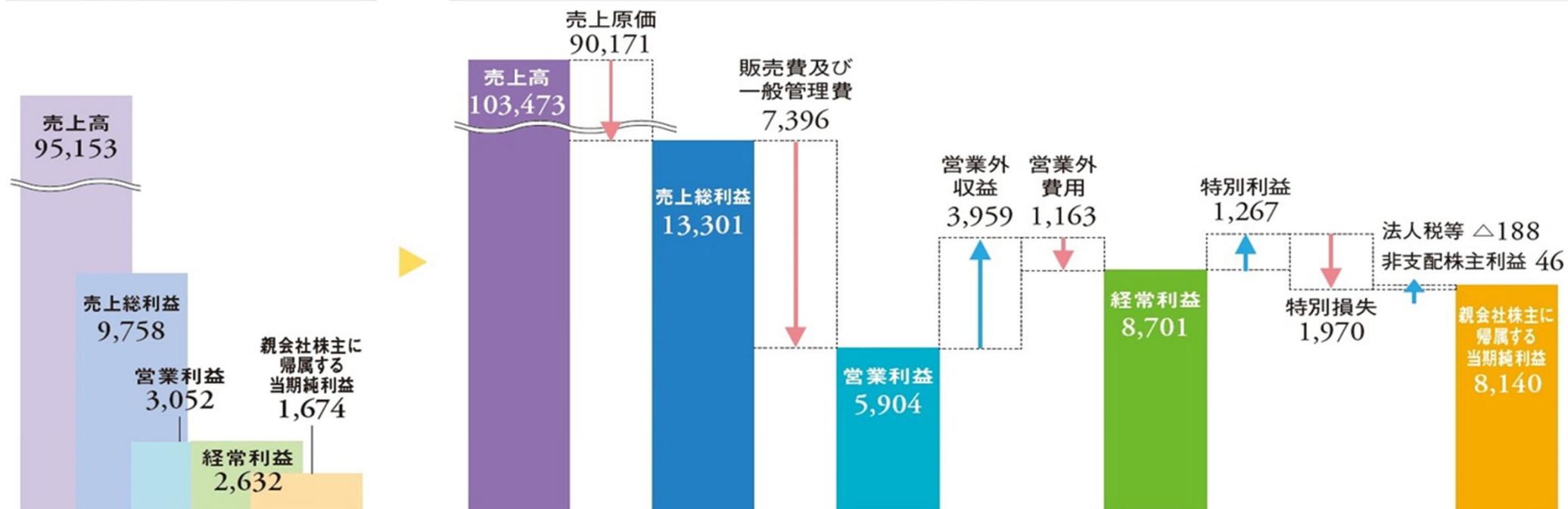


17/3期の業績

17/3期の要因分析

16/3期

17/3期



【重点事項】

- ・利益率の改善（約2.5%の改善）
- ・持分法による投資利益の増加
- ・特別損益（航空機購入による補助金収入と圧縮損）
- ・業績回復による繰延税金資産の計上



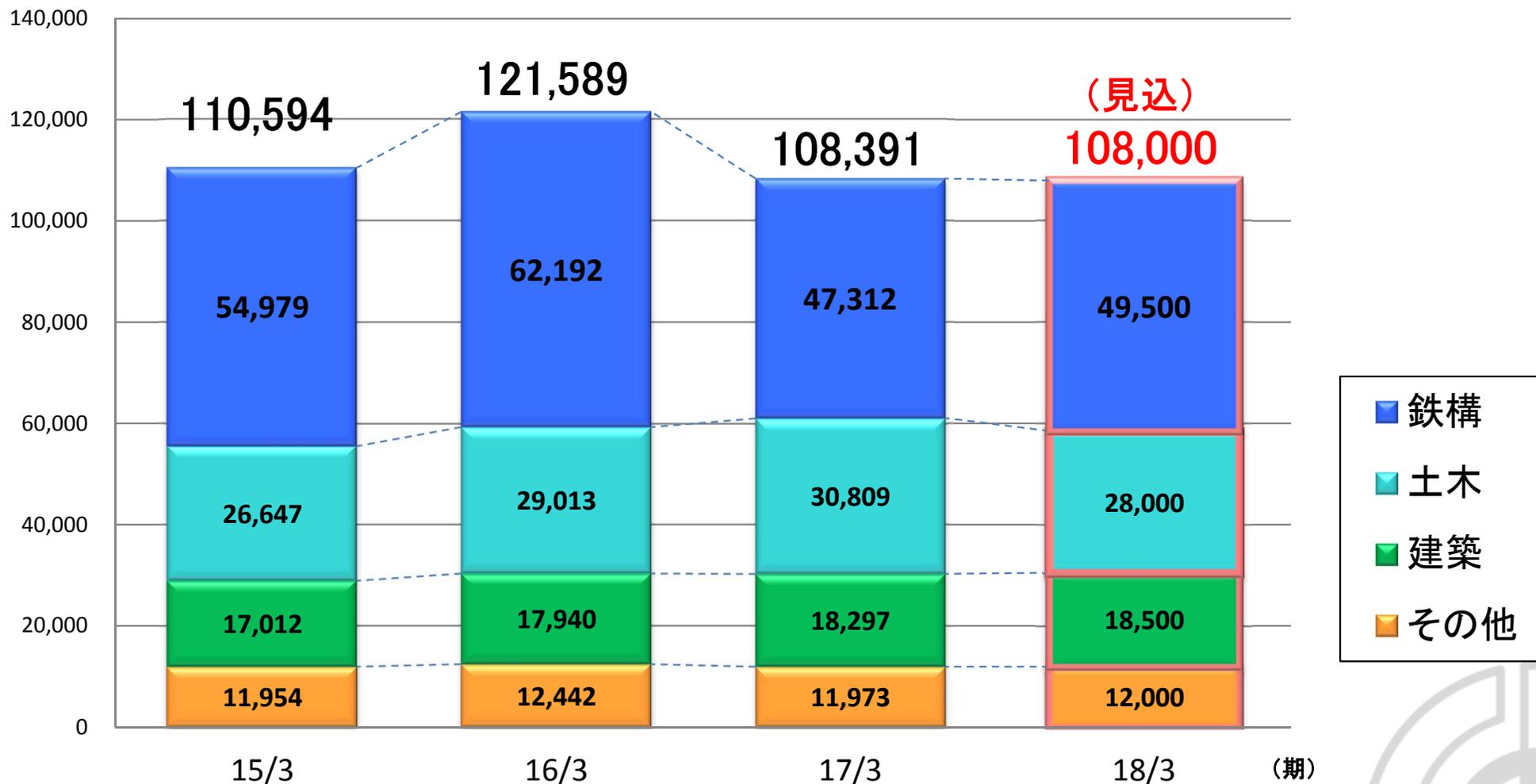
17/3期の業績と18/3期の見込

(百万円)	16/3	17/3		18/3	
	実績	実績	前年度比	見込	前年度比
受注高	121,589	108,392	10.9%減	108,000	0.4%減
売上高	95,153	103,473	8.7%増	110,000	6.3%増
売上原価	85,394	90,171	5.6%増	99,000	9.8%増
売上総利益	9,758	13,301	36.3%増	11,000	17.3%減
販管費	6,705	7,396	10.3%増	8,000	8.2%増
営業利益	3,052	5,904	93.5%増	3,000	49.2%減
経常利益	2,632	8,701	230.5%増	2,700	69.0%減
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,674	8,140	386.2%増	2,100	74.2%減



受注高の推移(セグメント別)

(百万円)

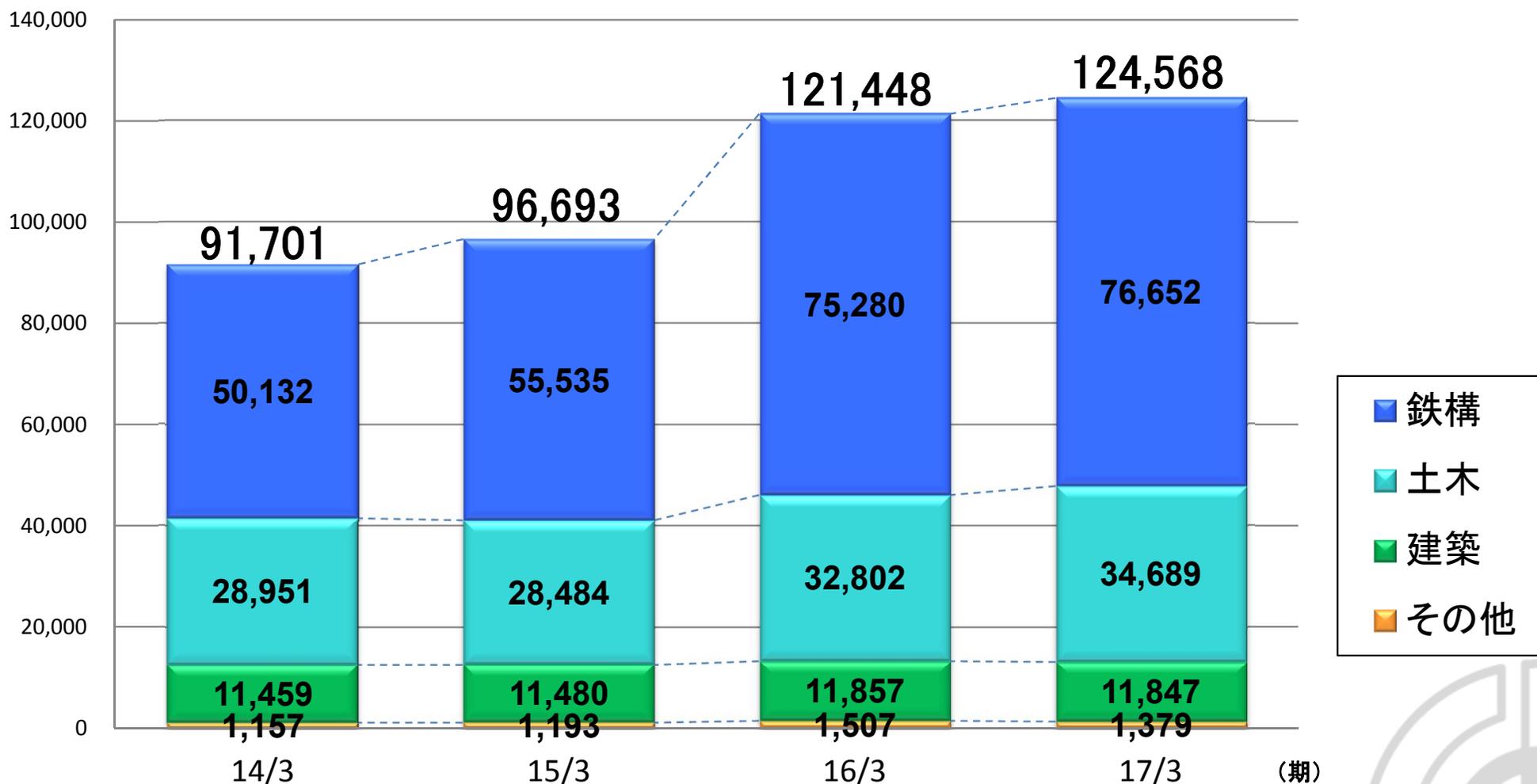


※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。



繰越高の推移(セグメント別)

(百万円)



※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。



売上高と営業利益(セグメント別)

(百万円) セグメント		16/3期 実績	17/3期 実績	18/3期		
				見込	増減額	前年度比
売上高	鉄構	42,447	45,940	53,000	+7,060	15.4%増
	土木	24,696	28,921	29,000	+79	0.2%増
	建築	17,562	18,308	18,000	▲308	1.7%減
	その他	12,128	12,101	12,000	▲101	0.8%減
営業利益	鉄構	2,628	4,161	3,000	▲1,161	27.9%減
	土木	258	914	500	▲414	45.3%減
	建築	1,615	2,306	1,200	▲1,106	48.0%減
	その他	81	200	300	+100	50.0%増

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

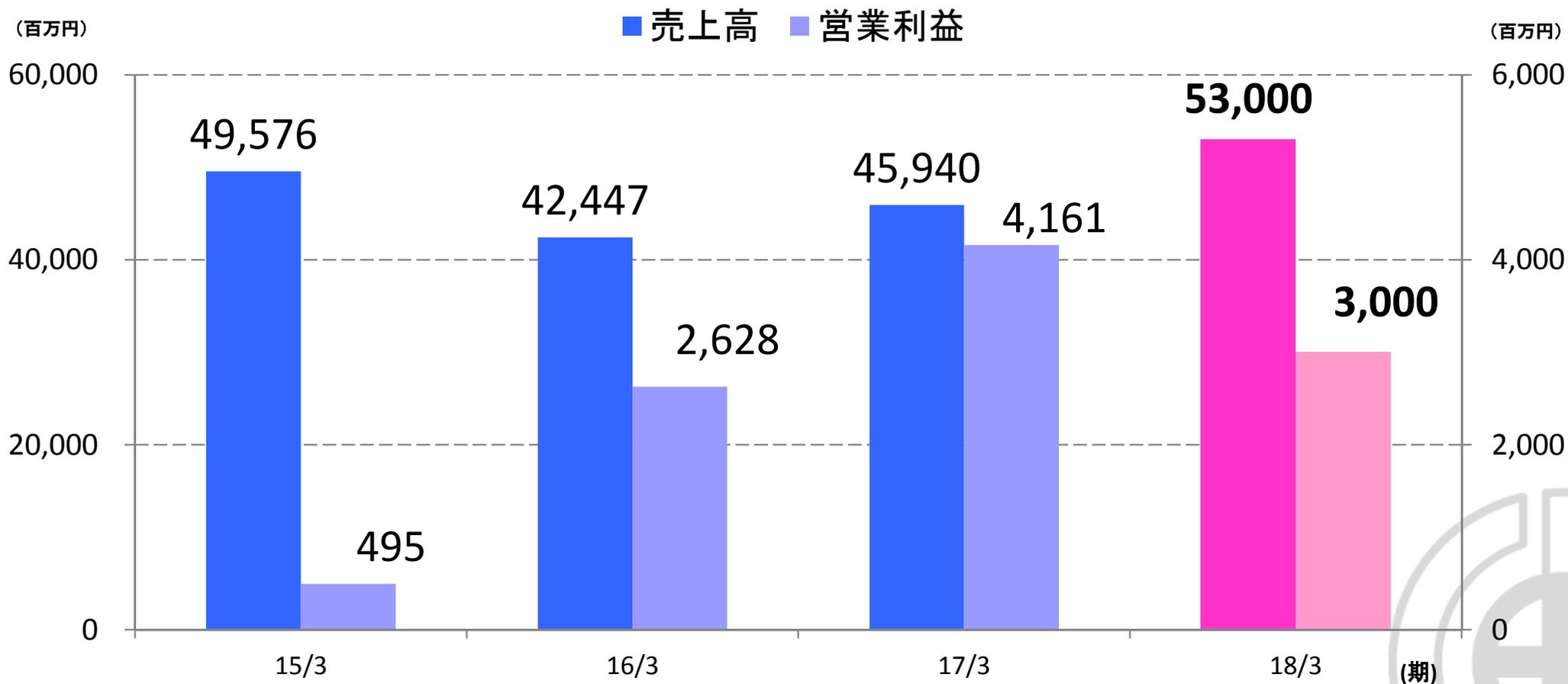


売上高と営業利益(鉄構セグメント)

18/3期の見込

売上高
営業利益

53,000百万円
3,000百万円



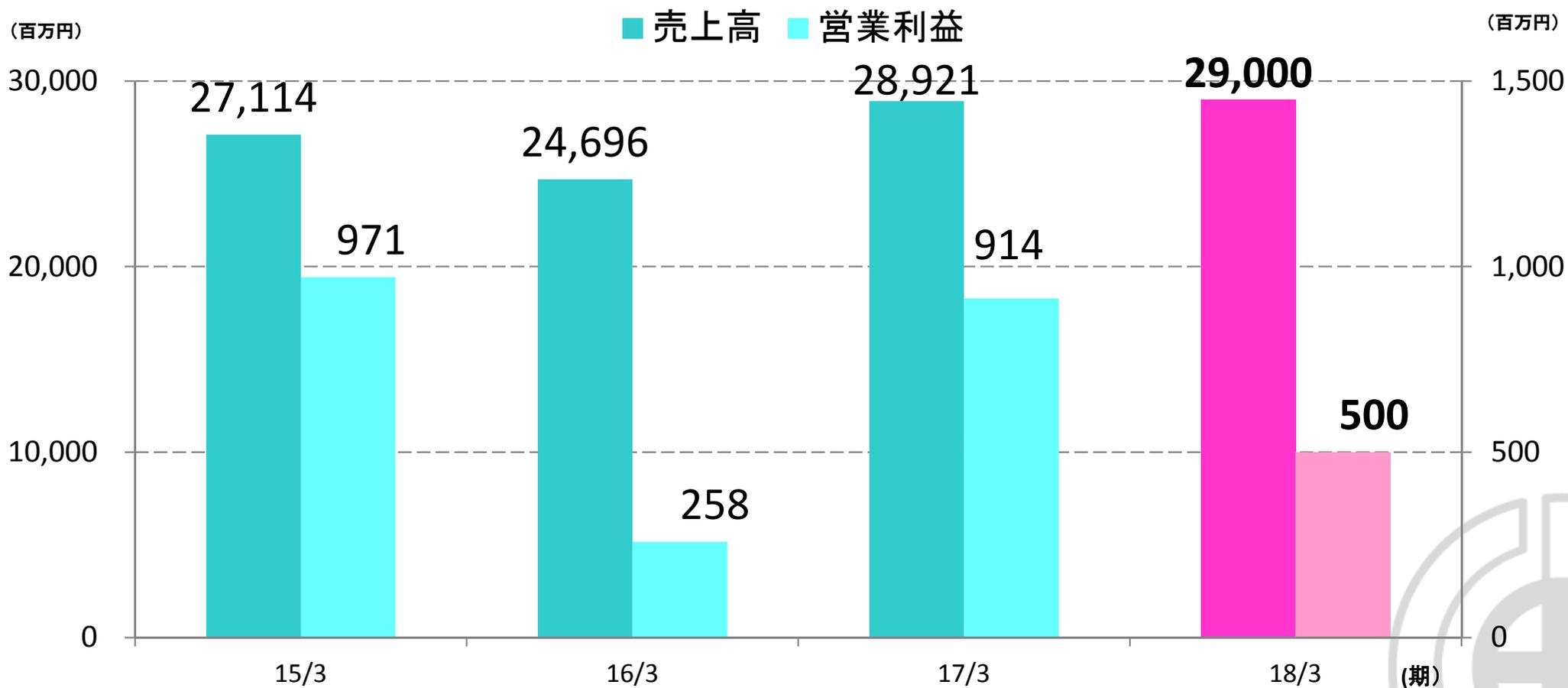


売上高と営業利益(土木セグメント)

18/3期の見込

売上高
営業利益

29,000百万円
500百万円



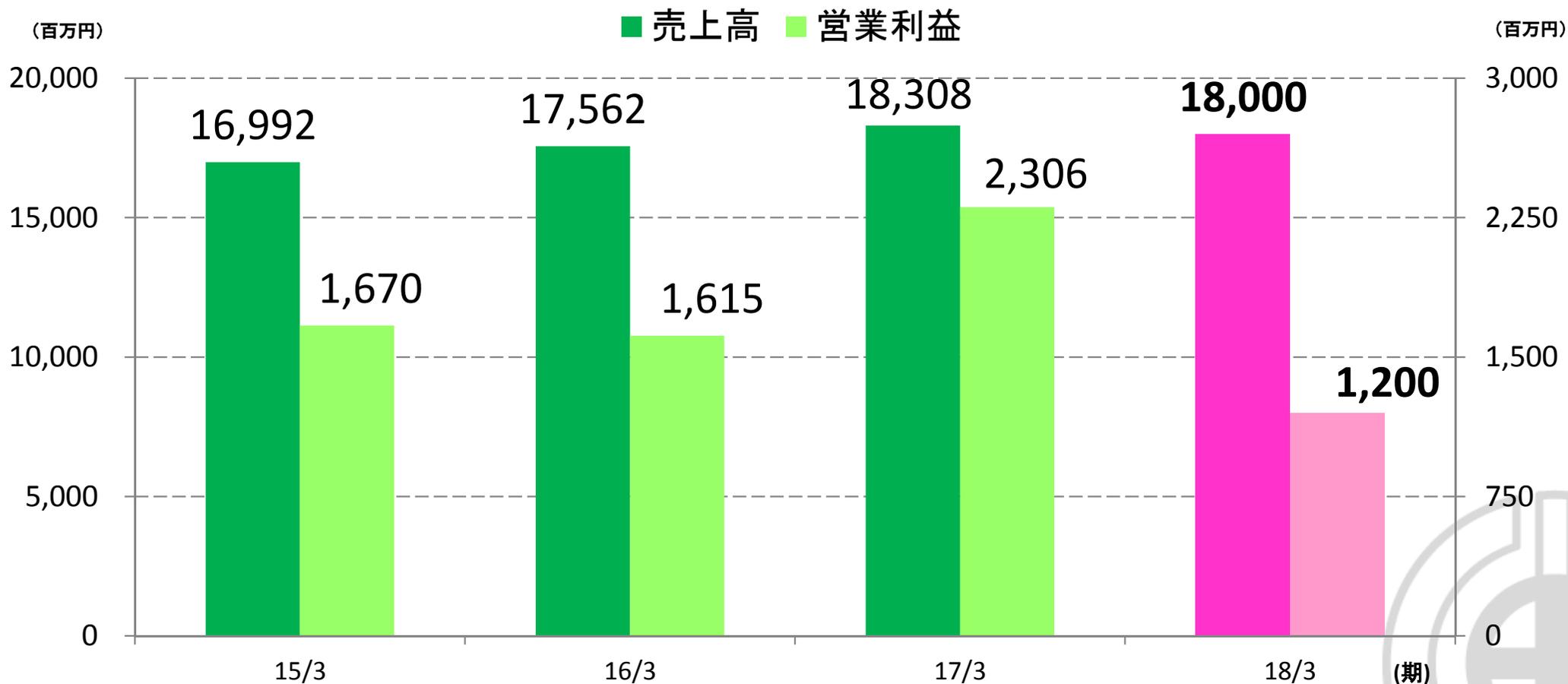


売上高と営業利益(建築セグメント)

18/3期の見込

売上高
営業利益

18,000百万円
1,200百万円





売上高と営業利益(その他)

18/3期の見込

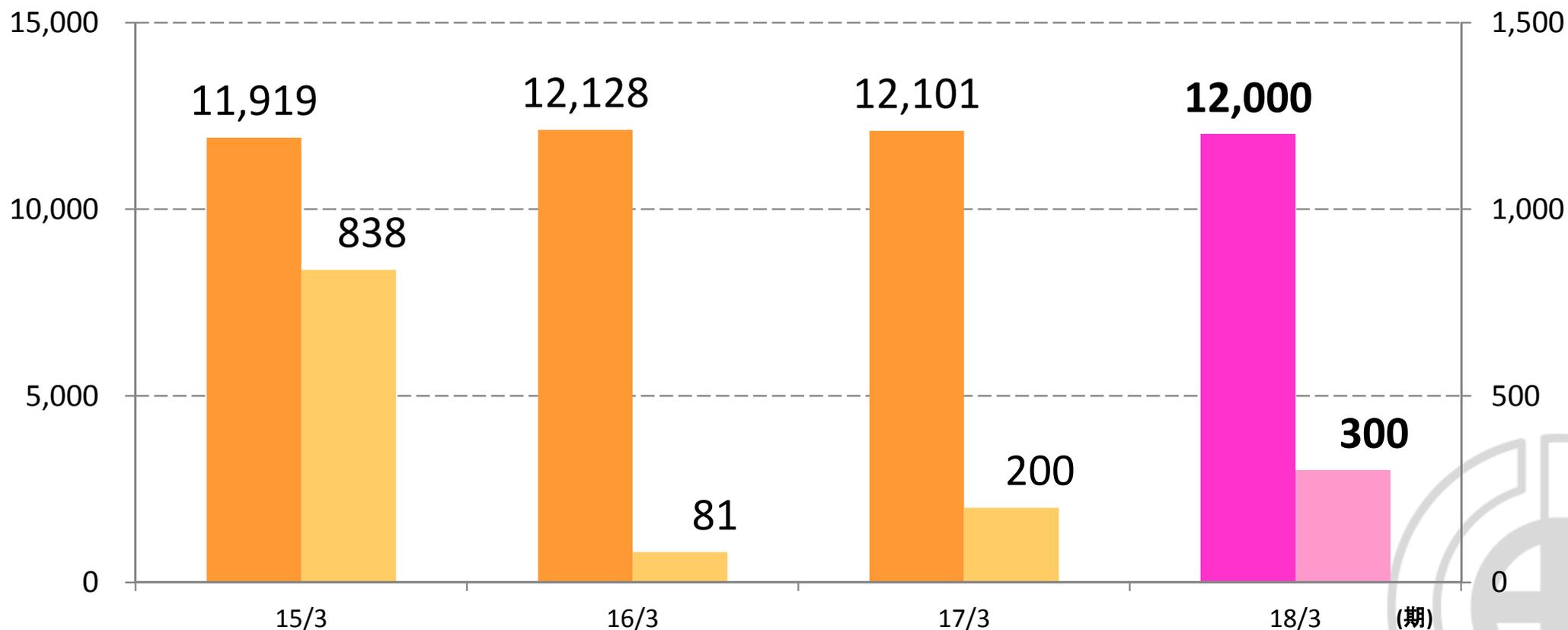
売上高
営業利益

12,000百万円
300百万円

(百万円)

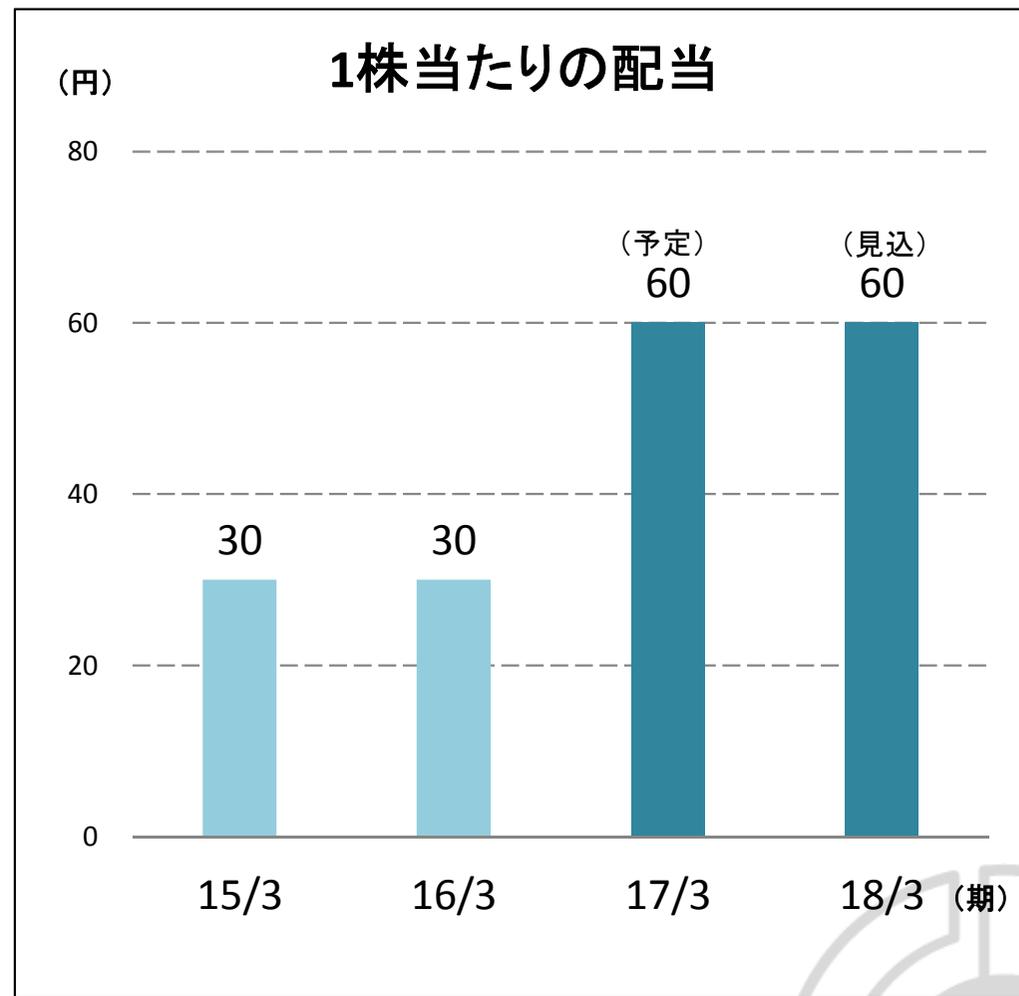
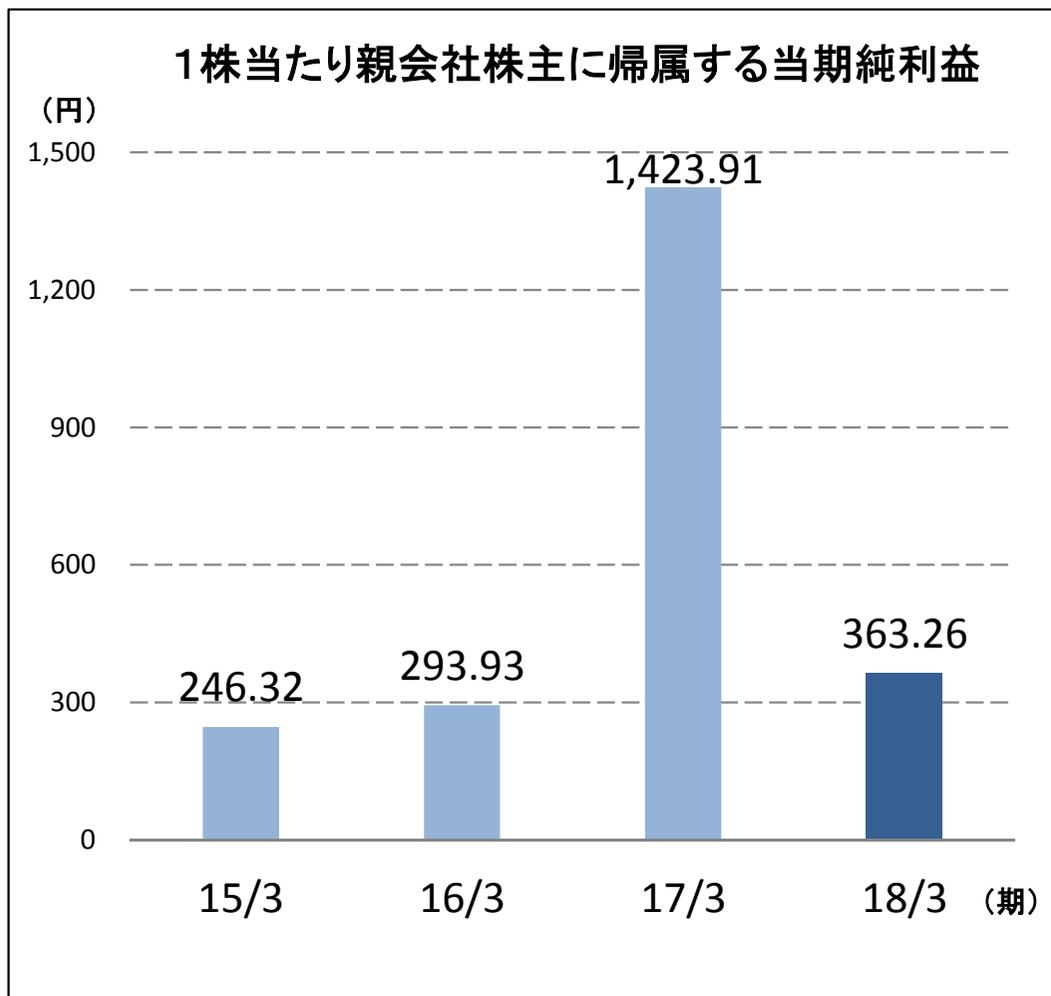
■ 売上高 ■ 営業利益

(百万円)





配当等について



※期末配当につきましては、2017年6月29日開催予定の定時株主総会に付議する予定です。



今後の取り組み



「安心で快適な生活環境の創造」の実現

①収益力強化と成長への投資

- ・コア事業の収益力の向上
- ・生産体制(競争力)の再整備
- ・営業体制を強化し受注シェアをアップ

②経営基盤の強化

- ・株主、投資家との建設的な対話
(IR活動の充実)
- ・自己資本の充実、安定配当
- ・有利子負債の削減

③新しい成長領域の構築

- ・研究開発による新たな技術開発
- ・成長事業の確立
- ・新規分野へのチャレンジ

④人材育成と組織能力の向上

- ・組織の再編
- ・多様な人材の育成
- ・技術の継承



◆業績目標

(百万円)	18 / 3月期 目標	19 / 3月期 目標	20 / 3月期 目標
売上高	110,000	111,000	116,000
営業利益	3,000	4,000	4,700

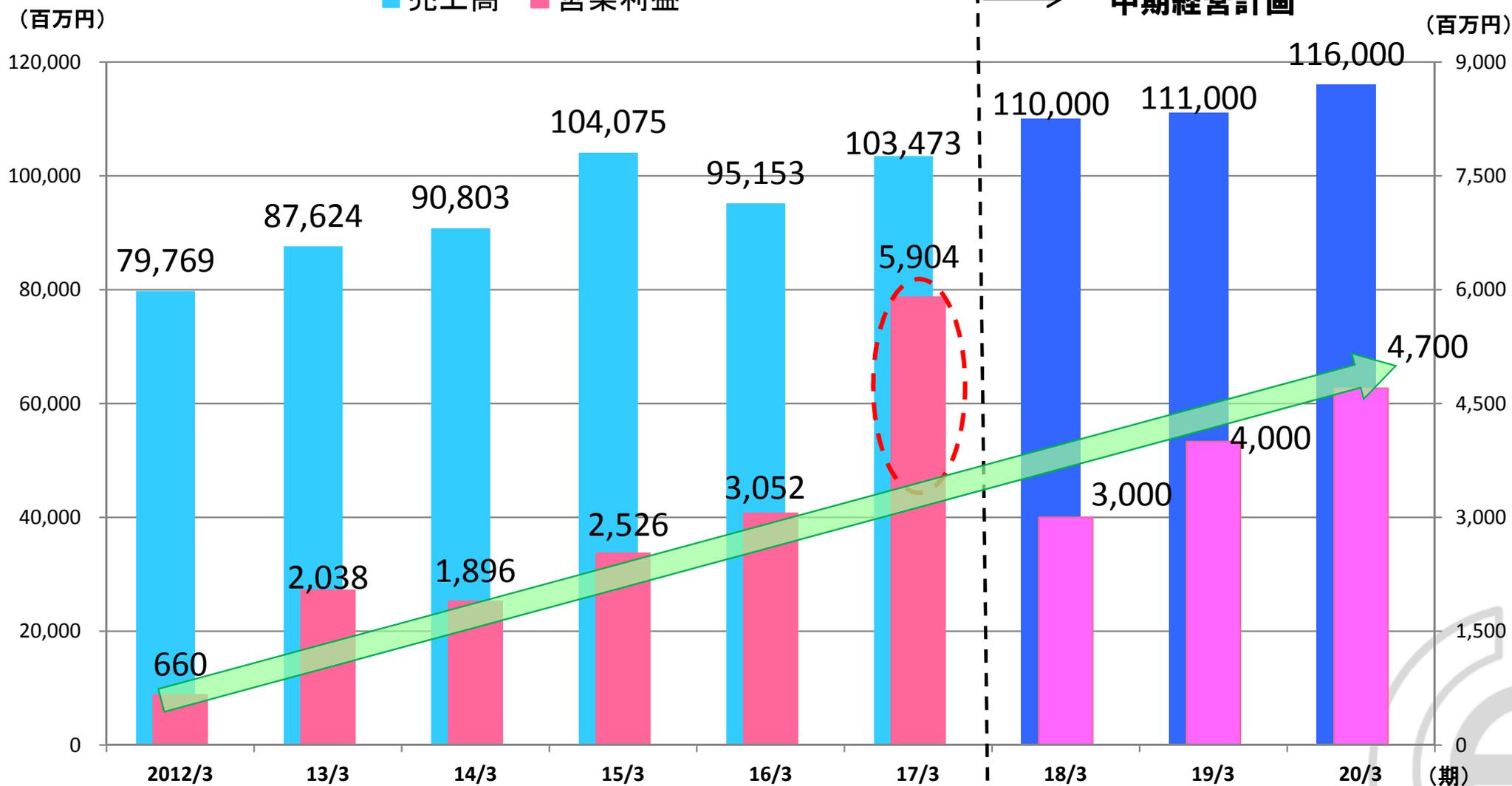
◆計画期間

2018年3月期 ~ 2020年3月期まで



売上高と営業利益の推移

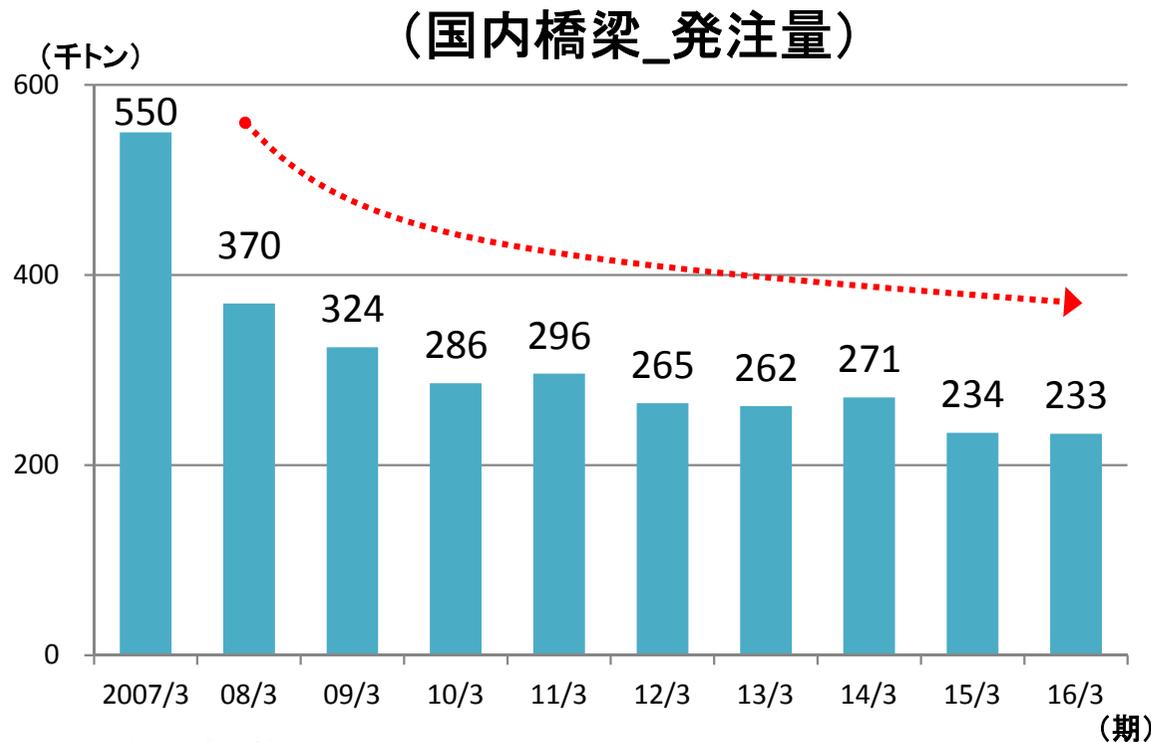
■ 売上高 ■ 営業利益





鉄構セグメント(橋梁)の取り組み①

- ◆橋梁の発注量は緩やかな減少傾向。
- ◆大規模補修・大規模更新事業の拡大。
- ◆海洋鋼構造物の製作拡充。



※日本橋梁建設協会より

●海洋鋼構造物 (ジャケット)





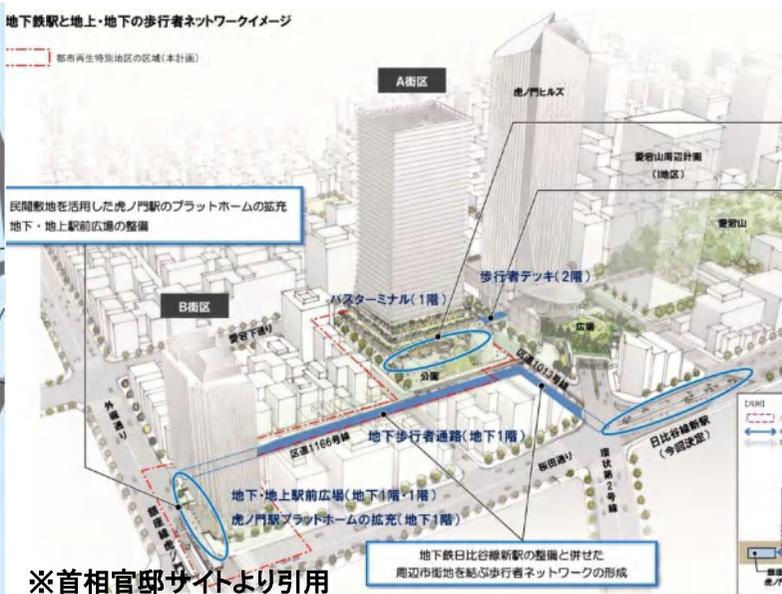
鉄構セグメント(建築鉄骨)の取り組み②

- ◆東京エリアを中心とした再開発プロジェクトで、建設需要は堅調に推移。
- ◆ボックス柱の需要増加に期待。

《首都圏における主な再開発計画》



【大手町・丸の内・有楽町 エリア】



【虎ノ門・六本木エリア】



【渋谷エリア】

今後の鉄骨需要を視野に、ボックス製造ラインの増強

新たな設備化の推進

処理能力の拡充

安全性の確保

自動化の推進

従来比で1.5倍の生産能力

- ✓生産能力の向上
- ✓コストの削減(工数低減)
- ✓競争力の向上

独創的な
ボックス製造ラインが産み出す
強靱な利益体質





施工条件に応じた製品や技術

RC床版からプレキャストPC床版や合成床版（SCデッキ）へ



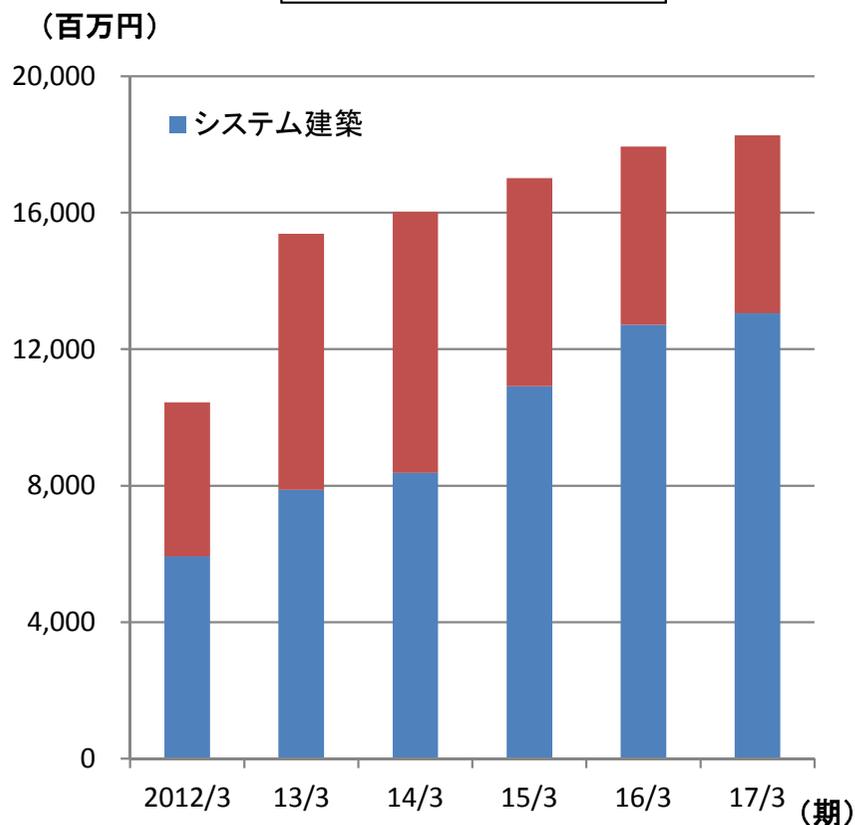
橋梁保全のさまざまなニーズに対応

保全事業の受注拡大、周辺事業への展開



システム建築事業を軸に、受注拡大を目指す

建築セグメント売上推移



営業戦略と体制強化

得意分野での受注シェアアップ



【2階建てシステム建築】

【物流倉庫など】

- 西日本の営業基盤の強化
- 選別受注による利益の確保
- 新規顧客への拡販
(多層階倉庫、冷凍冷蔵倉庫など)

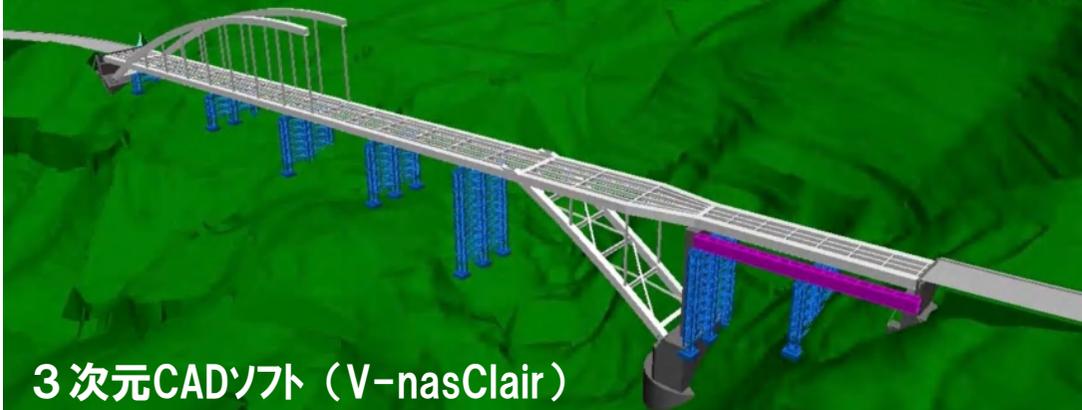


その他の取り組み

防災ヘリによる消火活動（岩手県）



アーチ部 トラベラクレーン架設



3次元CADソフト（V-nasClair）

KAWADA
Robotics



国際ロボット展でのプロモーション



全てのステークホルダーにとっての企業価値向上を追求する。

それを実現するために、

高い技術力を集結し より強靱なグループへ

“成長し続ける 川田グループ”

既存事業の
収益力強化
であること

既存事業の収益力を一段高いレベルに
上げるとともに、将来、川田グループの
中核となり得る新規事業を戦略的に推進する。





本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

総務部社長室 03-3915-7722(代表)